

肝炎医療コーディネーターになりませんか？



肝炎について

我が国では、B型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルス感染に起因するウイルス性肝炎の患者さんが多数おられます。肝炎ウイルスに持続感染している人は、B型(HBV)で110万～140万人、C型(HCV)で90万～130万人とされ、いまだ国内最大の感染症のひとつとされています。本来、肝臓は再生能力が高く、丈夫な臓器ではありますが肝炎ウイルス感染者は無症状のまま、徐々に肝臓の機能が失われていき、肝硬変や肝がんといった重篤な病態に進行します。肝がんによる死亡者数は全国でおおよそ毎年2万5千人にのぼります。

課題

鳥取県の肝がん死亡率は全国と比較して高く推移してきました。2012年は全国平均(6.4人/人口10万対)を上回りワースト14位(7.5人/人口10万対)でしたが、鳥取県や各自治体と肝疾患に関わる医療機関と連携し、さまざまな肝炎・肝がん対策を講じることで、2022年は全国平均(3.5人)を下回り(3.3人/人口10万対)まで減少してきました。しかしながら、肝がんの主要な原因であるウイルス性肝炎は依然として感染していることを知らないまま、あるいは知っていても放置している人が多く存在します。肝炎ウイルスの早期治療の重要性などの情報や知識が県民の皆さんに十分周知されていないため、必要な医療に結びついていない事が課題となっています。また、肝炎ウイルスに対する知識不足や誤解により、感染者に対する差別や偏見が存在していることも大きな問題です。

肝炎医療コーディネーターについて

鳥取県肝疾患相談センターが鳥取県と協力して取り組む肝炎・肝がん対策のひとつが『鳥取県肝炎医療コーディネーター(肝Co)』の養成です。肝Coとは、肝臓・肝炎に関する基本的な知識を習得し、

- ・肝炎ウイルス検査の促進、肝炎対策に関する情報提供および普及啓発
- ・肝炎ウイルス検査陽性者への受診勧奨・受診状況の確認
- ・保健指導、治療内容の説明
- ・医療費助成制度、医療機関の紹介

等を行ないます。

このバッジと認定証がもらえます！



肝炎医療コーディネーターになるには？

肝炎医療コーディネーターになったら？

鳥取県では年1回「肝炎医療コーディネーター養成研修会」を開催しています。肝炎対策について興味のある方ならどなたでも受講していただけますし、もちろん研修会修了後には鳥取県知事からの認定証も交付します。任期は認定から3年間です。肝疾患の知識習得の目的に受講していただいても構いません。本研修会が、皆さんが肝炎・肝がんの撲滅を目指して活動してくれるきっかけになれば幸いです。

申込はこちら
(肝疾患相談センター
ホームページ内)



肝疾患センター
キャラクター
肝ガエル君



鳥取県肝疾患相談センターでは肝疾患に関する質問や相談を受け付けていますので、メールやお電話にてご連絡ください。

鳥取県肝疾患相談センター(鳥取大学医学部附属病院内)

お問い合わせ先

TEL 0859-38-6525(平日9時～15時)

MAIL tottori-kanzou@ml.med.tottori-u.ac.jp

URL <http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/hepatic-disease/>

鳥取県肝疾患相談センター

